

魅力ある地域づくりに関する特別委員会 議事次第

令和8年3月10日(火)
午後1時30分～
於：第7委員会室

1 開 会

2 所管事項の調査

「スタジアムなどのスポーツ施設を活用した地域づくりについて」

参考人：株式会社ビバ 代表取締役社長

合同会社ビバ&サンガ 職務執行者

小森 敏史 氏

3 閉会中の継続審査及び調査

4 今後の委員会運営

5 そ の 他

6 閉 会

魅力ある地域づくりに関する特別委員会 出席要求理事者名簿
(令和8年2月府議会定例会)

【総務部】	
総務部理事 (自治振興課長事務取扱)	山 本 茂 樹

【健康福祉部】	
地域福祉推進課長	宮 村 匡 彦

【総合政策環境部】	
総合政策環境部副部長 (子育て社会推進監付理事兼務)	白 波 瀬 衛
地域政策室長	吉 田 宏 則
地域政策室企画参事 (北部担当)	古 田 良 明
地域政策室企画参事 (中部担当)	仲 村 貴 人
地域政策室企画参事 (南部担当)	池 松 達 人

【商工労働観光部】	
観光室長	西 田 剛

【農林水産部】	
農林水産部理事 (経営支援・担い手育成課長事務取扱)	小 塩 佳 市

【文化生活部】	
文化生活部副部長 (スポーツ・文教担当)	裕 伸 二
スポーツ振興課長	曾 我 学

【建設交通部】	
交通政策課長	坂 晃 昭

(計 12 名)

スタジアムなどのスポーツ施設を 活用した地域づくりについて

令和8年3月

魅力ある地域づくりに関する特別委員会

京都府立京都スタジアム（サンガスタジアム by KYOCERA） <全体概要>

サンガスタジアムの整備の目的

- 「観るスポーツ」と「するスポーツ」のあらゆるニーズを網羅するスポーツ拠点として整備され、にぎわい創出エリア等において、試合やイベント開催日以外でも多様な世代が楽しめる日常的な賑わいを創出。
- スタジアムを核としたまちづくりに取り組み、京都市中北部地域へのゲートウェイとして、地域の魅力を発信。

施設概要

所在地／アクセス	京都府亀岡市追分町 JR 亀岡駅から徒歩すぐ			
面積	敷地	約33,140㎡	延床	約35,600㎡
構造	鉄筋コンクリート造/ 鉄骨造 地上4階建			
観客席	約21,600人			
付帯施設	VIPルーム	有り (VIPラウンジ、VIPルーム、スカイボックス)		
	飲食・物販	フードコート、イベント時にはコンコースにも出店		
	その他	会議室、防災備蓄倉庫、にぎわい創出エリア (VR・eスポーツゾーン、コワーキングゾーン、クライミング施設、足湯施設、保育園等) 等		
ホームチーム	京都サンガF.C. (Jリーグ)			
スポーツ興行	サッカー (国際大会、Jリーグ等)、ラグビー、アメフト、スポーツクライミング (全国大会)、ニュースポーツ、eスポーツ等			
防災機能	避難所としても機能。防災備蓄倉庫や非常用発電機を設置。			

施設写真



スタジアム全体像

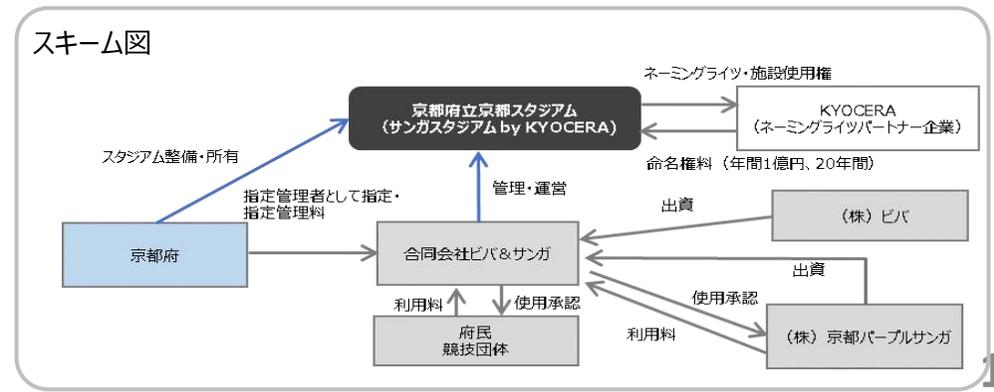
上空からの外観

フィールド&スタンド

事業概要

事業スキーム	京都府と亀岡市が所有する土地に、京都府がスタジアムを整備したうえで、指定管理者制度を活用して(合)ビバ&サンガが管理運営。
事業主体	京都府
所有者	土地：京都府、亀岡市 建物：京都府
整備方法	京都府による整備
資金調達	京都府による整備費の負担、ふるさと納税制度等個人・グループ寄附、企業寄附、スポーツじ助成金、命名権等の活用
管理・運営方法	指定管理者制度を活用して、指定管理者（合同会社ビバ&サンガ）が維持管理運営。
事業期間	整備：平成29年12月～令和元年12月（工期）約2年1ヶ月 運営：令和2年1月～

行政の役割・支援 スタジアムの整備・所有、指定管理者の指定等



京都府立京都スタジアム（サンガスタジアム by KYOCERA） <利活用について>

にぎわい創出のための付帯施設について

- 京都府や亀岡市の総合計画で文化創造や地域振興計画、**京都スタジアムを中心としたにぎわい創出等について明記**された。
- 付帯施設整備や**多様な世代が楽しめる日常的な賑わいづくり**に向けたコンセプト策定等が充分検討され、**新しいまちづくりに対して京都スタジアムが核となるような計画**となっている。
- 多様な世代が気軽に集うことができる拠点**として、エリア内に**保育園や足湯、3×3コート**等が設けられ**3種目の公式大会が開催可能なクライミング施設（スピード、リード、ボルダリング）**も併設されている。

<にぎわい創出エリア>

<クライミング施設>



<3×3バスケット>



<足湯施設>



<VRフィットネス>



<木育ひろば KIRI no KO>



<e-スポーツゾーン>



<フードコート>



試合のない日の施設利活用の工夫について

- フィールドやスタンド等では、**Jリーグなど球技の試合以外にも**、スタジアムウエディング、ピッチdeテント泊、キッズスポーツフェスタ、スタジアムカラオケなど**多彩なイベントが開催**されている。
- 一般利用では、亀岡市内の中学校の体育祭、文化祭や、亀岡市の成人式等に利用されている。
- イベントのない日も、開放されている外部コンコースをジョギングしたり、窓ガラスを鏡に見立てて地域の高校生がダンスの練習をしたり、家族でフードコートを利用したり**公園的な利用も多く、憩いの場**となっている。

<遊育プログラム時にピッチで遊ぶ保育園児>



<コンコースを活用したダンス大会>



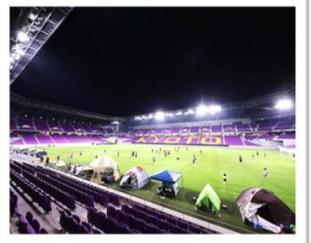
<スタジアムウエディング>



<キッズスポーツフェスタ>



<ピッチdeテント泊>



スタジアムの来場者数

令和6年度の利用者数が**過去最多の約53万人**。令和7年度においても、Jリーグ最多観客数を更新するなど好調（R7.10.25鹿島戦20,353人）

年度	年間利用者数（万人）	
	Jリーグ	Jリーグ以外
R2	2.3	1.5
R3	2.3	1.0
R4	3.6	1.2
R5	4.9	2.6
R6	5.3	2.5

(案)

令和8年 月 日

京都府議会議長 荒 卷 隆 三 殿

魅力ある地域づくりに関する特別委員長 田 島 祥 充

閉会中の継続審査及び調査要求書

本委員会に付されている事件は、下記の理由により、引き続き審査及び調査を要するものと認めるから、京都府議会会議規則第75条の規定により申し上げます。

記

1 件 名

大学の知と学生の力を取り入れた地域活性化、観光やスポーツを通じた様々な交流機会の拡大など、地域のポテンシャルの向上を目指した魅力ある地域づくりに関する施策について

2 理 由

審査及び調査が終了しないため